



発行：地域力推進久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL(3752)4271 FAX(3752)4514

久が原地区管内

<人口>	<世帯数>
男 14,182人	13,810世帯
女 15,014人	
計 29,196人	令和4年6月1日現在

新任のごあいさつ 「どうぞよろしくお願ひいたします」



久原小学校長
よこやま けいすけ
横山 圭介

「私たちの子供の学校」を創る

令和4年4月1日付けで、久原小学校長として着任しました横山圭介と申します。

久が原地域の恵まれた教育環境を生かし、子供たちにより良い教育活動を行っていくために、学校を子供たち、保護者・地域の皆様、そして私たち教職員にとっても「よりよい・大切な場所」＝「私たちの」とするよう努めてまいります。



大森第十中学校長
あいさ みつよし
相佐 光慶

「あいさつ」ではじまる学校づくり

令和4年4月1日付けで、大森第十中学校長として着任しました相佐光慶と申します。

大田区は、地域とともに成長する町づくりを大切にする区政です。学校の子供たちも地域を愛し、育ちます。温かい真心は、明るい笑顔とあいさつで始まります。十中は、あいさつができる心優しい子供たちの育成をめざします。



久が原特別出張所長
さいとう かずたか
齋藤 和孝

コロナ禍だからこそ「つながり」を大切に

コロナ禍が続く中で、感染症対策をしながらも、ポストコロナ、ウィズコロナを見通した地域活動や交流の場を模索していく数年になるのではないかと考えています。保育士として16年、現場で培ったコミュニケーション力を活かして、久が原地域の方々とのつながりを深め、地域の発展に尽力してまいります。

series 久が原の人 43

松本 定江さん 70代で現役綱引き選手！

さだえ

今から30年以上前、体育の日の区民スポーツまつりの競技で、大田区18出張所対抗の綱引き大会が行われていました。

松本定江さんはそのころから綱引きに魅せられて、現在も続けていらっしゃるということで、お話を伺いました。

始めたきっかけは、友人に誘われて久原小学校で練習をしている久が原ドリームスを見に行ったことです。



2年連続優勝した強豪チームの中に入って綱を引くと楽しくて、それまで参加していたママさんソフトボールをやめてまで、夢中になりました。大田区の大会は2000年で終了し、久が原ドリームスも解散してしまいましたが、いくつかのチームの残った人が集まって練習を続けています。現在は『ワイワイレディーズ』というチームに所属していますが、1チーム10名という人数には足りないため、全国大会や地区大会には他のチームの助っ人として参加しています。年齢を聞かれて70代だと言うと、「それで現役とは宇宙人だ」と言われました。

先日、ワイワイレディーズの練習にお邪魔しました。少人数ながら男女混合で



熱のこもった練習でした。パワーを出し切った爽快感、仲間との一体感が、続けられる理由だそうです。綱引きをやっていて良かったことを伺うと、大会で全国各地の人と知り合えたこと、2004年には日中友好の一環として北京に行き、綱引きを指導したことなどだそうです。

これからも、体力向上は無理でも、現状維持のためにできるだけ努力して、自分に合った大好きな綱引きを続けていきたいとのこと。

(本間 良子)

Restaurant
Duck

コロナ禍でも
休むことなく創業46年



久が原の柳の交番のすぐ近くにある、黄色いアヒルの子の写真が目印の洋食屋さんに入ってみました。

1976(昭和51)年、まだ店も少なく、道路も舗装されていないライラック通りに、奥様と2人で1才の息子さんが愛用していたディズニーのお茶わんの絵を見て“ダック”と名付けて 仏料理店をオープンしました。

やがて住宅地久が原の家路につく人たちの寄り所となり、お客様との対話やお店の雰囲気づくりも大切にしているオーナーシェフは、こだわりの食材で伝統の味を守りつつ、自慢の料理でお客様をおもてなしています。

店先では、ローズマリーやミントを育て、時には女性誌にも目を通すなどメニューの創作に日々研さんを重ねているそうです。

これからも2代目の息子さんと一緒に、永くこの地で愛される店でありたいと話していました。

レストラン ダック

店主 山崎 和雄 営業時間 11:30~14:00 (L.O. 13:30)
大田区久が原三丁目30-11 17:30~22:30 (L.O. 22:00)
03-3754-3769 定休日 毎週月曜日
(祝日は営業、翌日休み)

芙蓉

(ふよう)

7月〜10月初めにかけて久が原を歩いていると、ふと堀越しに手のひらくらいのピンク色の花を見かけます。5枚の薄い花びらがやさしく広がった、夏の代表的な花「芙蓉」です。

このアオイ科の芙蓉は、朝咲いて夕方にしぼむ「二日花」です。厳しい夏の暑さの中、少し涼しさを感じるような早朝に、この花に出会うと、清々しい気分になります。朝に咲いて夕方にはしぼむ、その儚さが、美しさと潔さを感じさせるのでしょうか。

芙蓉には、ピンクや白、一重や八重などの種類があるようですが、その中で、朝の白からピンクへと一日で花の色を変えるのが「酔芙蓉」です。その色のかわる姿が、お酒を飲んで酔ったように



芙蓉の花

見えることが、名前の由来だそうです。

そう言えば、実家のそばに「芙蓉」という酒造元がありました。この「酔芙蓉」に由来しているのかもしれないね。

※フヨウ(芙蓉)は主に関東以南で鑑賞用に栽培されるアオイ科フヨウ属の落葉低木

花言葉は「繊細な美」「美人」

酔芙蓉には「心変わり」も

(星合 典子)

お



を

す

る

猫

今回ご紹介する猫は

お手が得意な
大竹シルです
メス猫 14歳



飼い主さんとシルちゃんの出会いは14年前です。庭に野良の三毛猫と白猫が時々来るようになり、餌を与えていたようです。ある日、裏の物置小屋のそばに三毛と白猫がいてそのわきに手のひらに乗るくらい小さな子猫がいました。物置の上には子猫を狙っているカラスがいたので、これは危ないと子猫を保護しました。体にはノミがいっぱい、きれいに洗って飼うこととなりました。それ以来、シルちゃんは外出自由な暮らしです。

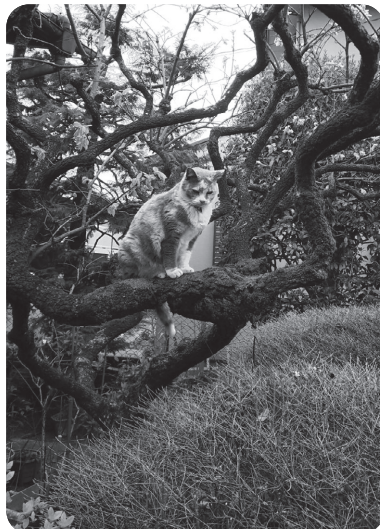
数年たちシルちゃんの日頃の様子から、教えればお手をしてくれるかと、飼い主さんの特訓が

始まります。まずは好物のおやつを匂いをかがせ、右手はこつちとポンポンと触り、左手もポンポンと触り、右手左手と覚えさせ、3週間ほどで出来るようになったそうです。

それからいつもおやつをもらう時は「シルお手」と言うと右手を出し、「おかわり」と言うと左手を出します。

近頃はあまり外出もしなくなり、昼間はテレビを見ながら飼い主さんの胸の上に乗り、ふみふみしながら甘えているそうです。シルちゃんと飼い主さんの至福のひと時です。

(DON高津)



イベント情報

- ◆ヒルズ久が原クリーン大作戦
【開催日】7月24日(日) 9時~
【場所】ヒルズ久が原
- ◆道々橋自治会子ども会
【開催日】7月30日(土) 10時~
【場所】道々橋八幡神社
- ◆ヒルズ久が原打ち水・納涼の夕べ
【開催日】8月7日(日) 17時~
【場所】ヒルズ久が原 中庭
- ◆久が原東部八幡神社例大祭
【開催日】9月4日(日) 13時~
【場所】久が原東部八幡神社
- ◆道々橋八幡神社例大祭
【開催日】9月10日(土)・11日(日)
【場所】道々橋八幡神社
- ◆久が原西部八幡神社例大祭
【開催日】9月18日(日) 15時~
【場所】久が原西部八幡神社
- ◆ヒルズ久が原敬老祝賀会
【開催日】9月19日(月・祝)
【場所】ヒルズ久が原管理棟多目的室
- ◆ふれあい久が原大運動会
【開催日】10月2日(日)
【場所】久原小学校

《問い合わせ先》久が原特別出張所
03-3752-4271

【編集後記】

体力維持のため、一面の記事で紹介した松本定江さんは週末にマラソン12キロ走っているそうです。もうびっくりですね。目標ゆるく私は一日6千歩を目指します。

大竹 恵美子